

文部科学省

大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム 平成21年12月25日（第8号）
「教員養成コンソーシアム四国」情報

コンソーシアム

徳島文理大学
「教員養成コンソーシアム四国」事務局

年末の慌ただしさがどこからともなく伝わってくる時節となりました。今回は、**教員免許状更新講習部会**の内容と新学習指導要領に関する講演についてお知らせいたします。
教員免許状更新講習部会

1 本年度の成果

- ① 教員免許状更新講習で幼・小・中・高等学校の先生方に有効な講座を提供できた。
- ② 教員免許状更新講習で行った講座は、今後の現職の教員研修に生かすことができる。
- ③ 受講希望者は少ないが、専門的な内容の講座が必要とされていることがわかった。

2 次年度の取り組みの方向

- ① 学校への広報や受講受付の方法等について工夫と改善を図る。
- ② 講習の充実を図るために、アンケートを実施して受講者からより詳しい評価を得る。
- ③ 来年度以降の実施について不明確であるが、今後の動向を注目しながら取り組む。

3 次年度以降の取り組み

- (1) 大学間の連携を強化し、免許状更新講習の充実を図る。
 - ① 本年度の課題を検討し、次年度も教員免許状更新講習を実施する。
 - ② 「教員養成コンソーシアム四国」の取り組みを活用して、指導者の補完や自動講義収録・配信システム等の活用により実施する講座の充実を図る。
- (2) 地域的な教育課題を的確に把握して、教育委員会や校長会と連携し現職教員の研修に取り組む。
 - ① 教員免許状更新講習の成果を生かし、新任教員研修、10年次研修、教科等の研修を大学がサポートしていけるよう、各県の教育委員会や校長会と連携を図る。
 - ② 上記の目的を達成するために、各県の教育委員会、校長会等との意見交換を定期的に実施する。

新学習指導要領に関する講演が行われました。

12月12日（土）、徳島文理大学徳島キャンパスで開催された中国・四国地区私立大学教職課程連絡協議会2009年度秋季研究協議会において「新学習指導要領に関する講演」が行われました。

国立教育政策研究所初等中等教育研究部長の工藤文三先生をお迎えして「新しい学習指導要領を踏まえた教員養成について」という演題でお話をいただきました。徳島県内の小学校の先生方、県立総合教育センターの先生方が多数参加されました。



工藤先生からは、学習指導要領改訂の背景、学習指導要領の内容、新教育課程の運営、学習指導要領の改訂を承けた教員養成の在り方、習得・活用・探究について、わかりやすくお話をいただきました。また、「小学校の外国語活動の取り組み」「伝統や文化関にする教育の充実」「理数科教育の充実」等の課題についてもふれていただきました。

小学校の先生方からのアンケートでは、「学習指導要領の総則を学校でどのように具体化していくか参考になった」「改訂の趣旨がわかったので、指導計画に生かしていきたい」等の感想と、「大学等教員養成機関では、学生に児童理解力、教員としての基本的な技能、日々の困難を乗り越える勇気、気力を身につけさせたい」という意見とをいただきました。